伊藤　裕子

20 号館 12 階　伊藤研究室

テーマ：　イギリスとヨーロッパを読み解く

イギリスやヨーロッパの多様なジャンルの読み物やフィクションを読んで、読解、分析のための鍵を学ぶと同時に、芸術、文化的背景をさまざまな角度から考察します。考察の対象は、映画、文学、劇、オペラ、ミュージカルなどです。

【授業の趣旨】
読む力、分析する力、論理的に考える力、そして考えをまとめ、書く力を養います。イギリス・ヨーロッパの芸術、文化、歴史、社会、生活等について、また映画と小説というメディアの違いを考察します。

【授業計画】
イギリス・ヨーロッパの文学、文化を主に扱い、時間軸、空間軸ともに異文化であるテクストを読み解いていきます。特に焦点を当てる 20 世紀初頭は 19 世紀ヴィクトリア朝の栄華の余韻と旧いものの考え方に固執しながらも、文化、斬新な芸術が生み出され、新しい精神性を持った人々がロンドン、パリなどの都市部を中心に活躍した興味深い時代です。英語に自信が無くても問題ありません。課外活動（成績評価に関係なし）として、ミュージカルなどの観劇、芸術鑑賞、音楽鑑賞を行います。

【成績評価】
各学期において中間レポートおよび期末レポートを課します。成績評価は、出席、授業での発言、プレゼンテーション、中間レポート、期末レポートにより総合的に評価します。演習Bにおける期末レポートでは、各自で選んだテーマについてレポートを課す予定です。

【教科書】
受講生の興味に応じて後日指定しますが、今のところ予定している作品は以下のとおりです。
『ドラキュラ』、『オーランドー』、『ハリー・ポッター』、『指輪物語』、『タイムマシン』、『シャーロック・ホームズ』、『ダウントン・アビー』、『トレインスポッティング』、シェイクスピア作品、『タイタニック』、その他。

注意事項

授業無断欠席は認められない。面談の際、以下の事項について 200～400 字以内にまとめて提出のこと。Zoom 面談も可能です。面談時間帯であっても所用により不在の事がある。面談は、メール予約をした学生を優先する。

1）この演習を選んだ理由　2）この演習についての質問　3）卒論を目指して、現在関心のあるテーマについて
4）自己紹介（取得した資格、大学での活動、アピールしたいこと等）

ito@fsc.chubu.ac.jp




